

特任研究員選考結果報告

特任研究員選考委員会
委員長 中尾 茂

2021年度「災害の軽減に貢献するための地震火山研究計画（第2次）」で採用する特任研究員の選考結果について、以下の通り報告します。

選考経緯

2020年11月13日 特任研究員雇用申請の受付開始。
2020年12月17日 同 締め切り（申請件数1件）
2020年12月28日 遠隔会議にて選考委員会を開催した。
委員は、吉田慎吾（企画部長）、加藤尚之（東京大学地震研究所地震火山噴火予知研究推進センター長）、西村太志（戦略室長）、中尾茂（予算委員長）。
互選により中尾を委員長に選出。
申請書に基づいて審査を行い、1件の採用を決定。

2021年1月8日から
1月15日 協議会委員にメールで意見照会。
2021年1月18日 申請者に採用結果を通知予定。

採用した申請の概要

(申請：継続)

申請者所属・職名：氏名

東京大学大気海洋研究所・准教授・朴進午

研究課題名[課題番号]

巨大津波を引き起こす震源断層の実態解明と流体変動モニタリング[TKK01]

特任研究員氏名

Ehsan Jamali Hondori（東京大学大気海洋研究所・特任研究員）

特任研究員の研究分担内容・必要性、推薦理由など

浅部プレート境界断層（デコルマ）や大規模アウターライズ地震断層の構造と間隙水圧を高精度で明らかにするためには、高精度地殻構造のイメージン手法と高精度速度構造モデリング手法により研究を実施する研究員が必要である。

Hondori氏は、高精度地殻構造イメージングなどの地殻構造イメージングとプレー

ト境界断層の間隙水圧測定などの物性測定で研究成果がある。また、2020年度特任
研究員として課題 TKK01の研究に参加し、論文2編をすでに投稿し、査読後の改訂
中であり、さらに1篇は執筆中と研究成果を上げている。投稿した論文のうち1篇
は筆頭著者である。以上から、本計画への貢献が期待できる。

部局の経費負担：50%

選考委員会の選考理由

選考委員会は、申請のあった1件について申請書に基づき、審査を行った。継続の申請で
あることから、研究員の必要性について確認し、2020年度の成果について議論した。

その結果、巨大津波を発生させる断層に関する研究成果が期待される本申請において、申
請を採択とした。

申請では、特任研究員の役割が明確にされており、必要性が妥当であると判断した。2020
年度の研究成果について、特任研究員候補者は、すでに論文2編を投稿し、うち1篇は筆頭
著者である。また、別の1篇についても執筆中であり、申請課題で研究の進展に特任研究員
候補者が貢献していることが認められ、雇用の継続により、さらなる研究の進展が期待でき
ると判断した。

申請は受入部局が雇用経費の50%を負担できるとのことであるので、本研究計画からの
雇用負担は50%が妥当と判断した。